

「伊勢湾流域圏海洋ごみ対策推進広域計画（仮称）」策定の進捗等

1 策定趣旨

- 本計画は、伊勢湾流域圏全体での海洋環境の保全を目指し、上流地域と下流地域が一体となって海洋ごみ対策に取り組んでいくことを目的に作成。
- 広域計画の基本方針及び各県の地域計画との関係性について、海岸漂着物対策に係る理念や流域圏全体の共通目標等をまとめたものとし、地域毎の課題については、それぞれの地域計画に委ねるものされている。

＜参考＞ 海岸漂着物処理推進法（抜粋）

第十四条 都道府県は、海岸漂着物対策を総合的かつ効果的に推進するため必要があると認めるときは、基本方針に基づき、単独で又は共同して、海岸漂着物対策を推進するための計画（以下この条及び次条第二項第一号において「地域計画」という。）を作成するものとする。

2 地域計画には、次の事項を定めるものとする。

- 一 海岸漂着物対策を重点的に推進する区域及びその内容
- 二 関係者の役割分担及び相互協力に関する事項
- 三 海岸漂着物対策の実施に当たって配慮すべき事項その他海岸漂着物対策の推進に関し必要な事項

3 都道府県は、地域計画を作成しようとするときは、あらかじめ、住民その他利害関係者の意見を反映させるため必要な措置を講ずるものとする。

4 都道府県は、地域計画を作成しようとするときは、あらかじめ、関係する地方公共団体及び海岸管理者等の意見を聴かなければならない。

5 都道府県は、地域計画を作成しようとする場合において、次条第一項の協議会が組織されているときは、あらかじめ、当該地域計画に記載する事項について当該協議会の協議に付さなければならない。

6 都道府県は、地域計画を作成したときは、遅滞なく、これを公表しなければならない。

7 第三項から前項までの規定は、地域計画の変更について準用する。

2 策定経過


- 令和3年度
 - ・三県の担当部局を構成員とするワーキンググループを設置
 - ・全4回ワーキンググループを開催し、計画の大枠を決定。
- 令和4年度
 - 6月 企画提案コンペにより、計画策定に係る委託業者を決定
 - 7月～8月 三県の県民に対し、海洋ごみに係る意識調査を実施
 - 9月～11月 計画骨子の提示
 - 12月～2月 計画素案の検討

3 計画の柱建て

章	項目	概要
第1章	計画の基本的考え方	①計画策定の背景及び目的 ②計画の法的枠組み ③三県の共通理念及び目標 【共通理念（案）】 <ul style="list-style-type: none"> ・流域圏の関係主体が役割を果たしつつ相互連携し、一体となって海洋ごみ対策を推進すること。 ・伊勢湾全体の景観と環境保全を図り、健全かつ活力ある伊勢湾の創生を目指す。 【目標（案）】 <ul style="list-style-type: none"> ・海洋ごみの円滑な回収・処理の推進 ・海洋ごみの効果的な発生抑制の推進 ・多様な主体の適切な役割分担と連携の確保
第2章	伊勢湾流域圏の現状	①海岸漂着物の漂着等の現状 ②海岸漂着物の発生状況（河川等の現状） ③海岸漂着物問題に係る県民の意識調査 ④回収処理・発生抑制の取組の現状
第3章	現状の分析と対策の基本方針	①海岸漂着物対策を重点的に推進する区域とその内容 ②回収処理、広域的な発生抑制対策 ③隣接県との広域的な連携、県内の内陸部と沿岸部の市町村同士の連携
第4章	広域での海洋ごみ対策の検討	①関係者の役割分担及び相互協力に関する事項 ②海岸漂着物対策の実施に当たって配慮すべき事項・その他海岸漂着物対策の推進に関し必要な事項
巻末資料		・県民アンケート調査結果の詳細を掲載

4 計画策定に係る今後のスケジュールについて

令和5年3月 計画素案
 5月 市町・海岸管理者への意見照会
 7月 各県協議会審査
 8月～9月 パブリックコメント実施
 11月 計画案
 令和6年2月 各県協議会審査
 3月 計画策定

	令和4年度		令和5年度											
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
策定作業		・素案		・市町・海岸管理者への意見照会		・各県協議会				・計画案			・各県協議会	・策定